

- 問1 てこを使って重い物を持ち上げるとき、てこを支える位置のことを何といいますか。
- 問2 てこの仕組みを使って重いものを持ち上げるとき、力を加えるものはどれですか。
- 問3 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのように表されますか。
- 問4 てこを使って重いものを持ち上げるとき、手でてこを押し下げたり引き上げたりして、力を加える位置のことを何といいますか。
- 問5 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。
- 問6 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。
- 問7 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。
- 問8 はさみで紙を切るとき、2つの刃が交わっていて、はさみ全体を支える位置にあたる部分を何といいますか。
- 問9 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。
- 問10 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、作用点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。
- 問11 てこを使って重いものを持ち上げるとき、そのものに力がはたらいている「作用点」では、どのようなことがおこっていますか。
- 問12 1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを何といいますか。
- 問13 理科の実験などで、手で押し下したり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。
- 問14 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点に近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。
- 問15 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。
- 問16 つり合っているてこでは、左右のうでの「てこをかたむけるはたらき」はどうなっていますか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 支点	てこを支える位置のことを「支点」といいます。
問2	答え ささえた棒	てこは、1点でささえた棒に力を加えることで、重いものを持ち上げる仕組みです。
問3	答え おもりの重さ×支点からのきより	てこをかたむけるはたらきは「おもりの重さ×支点からのきより」で表されます。
問4	答え 力点	てこを動かすために、手などで直接力を加える位置のことを力点といいます。
問5	答え おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ）	てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、おもりの数（力の大きさ）と支点からのきより（長さ）の「積（かけ算）」で表されます。
問6	答え せんぬき	せんぬきは、作用点が支点と力点の間にあるてこの仕組みを利用した道具です。
問7	答え 支点	はさみやくぎぬきは、支点が作用点と力点の間にある道具の代表的な例です。
問8	答え 支点	はさみの刃が交わる部分は、はさみを支える位置である「支点」にあたります。
問9	答え てこのつり合いのきまり	てこがつり合うとき、左右の「おもりの重さ×支点からのきより」が等しくなることを「てこのつり合いのきまり」といいます。
問10	答え 作用点を支点から近くにする	てこでは、作用点を支点から近くにするほど、重いものを小さな力で持ち上げることができます。
問11	答え ものに力がはたらく。	作用点は、てこを使ってものに力がはたらく位置のことです。手で力を加える位置は力点、てこを支える位置は支点です。
問12	答え てこ	1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを「てこ」といいます。
問13	答え ものの重さ	力の大きさは、台ばかりなどの目盛りを使って、ものの重さにおきかえて表すことができます。
問14	答え 手ごたえが小さくなり、小さな力で持ち上げられる	作用点が支点に近づくほど手ごたえは小さくなり、より小さな力で重いものを持ち上げられるようになります。
問15	答え 力点が間にある道具	力を加える「力点」が、支える「支点」と仕事をする「作用点」の間にある道具のことを「力点が間にある道具」と呼びます。
問16	答え 左右で等しくなっている	つり合っているてこでは、てこをかたむけるはたらきが左右で等しくなっています。